1997 カリスマ 4

RCE Y33 & WAGON R

スポーツ色の濃いチューニングショップであるトライアルだが、今回、新たに手がけたのはY33、ワゴンRという意外な(?)2台。どちらも、ドレスアップが流行しているジャンルである。が、もちろんトライアルが仕上げるのであるから、おきまりのビッグセダン、アメリカン風ミニバン、なんて世の中の流行に便乗するようなマネはしない。走ってこそクルマと思わせる威厳を漂わせての登場なのである。

ドッカ〜ンと覗いたインタークーラーからも、フロントスポイラーの開口部の大きさがわかる。かなり迫力のあるデザインであるにもかかわらず、厚ぼったい感じにならないのは、インテークの多さにもあると思う。

インテークを設けたサイドステップには、シャープなデザインが用いられ、ボディをスマートに見せるのに大きなウエイトを占めている。

DTM風のウイングと、マフラーとスポイラーを仕切るパーツが斬新なリアビューをつくりだす。ハネ上げ式のマフラーも実にぴったりとマッチしている。

ショーカーということもあり、革製のレカロシートに加え、リアシート、内張りまで統一されている。スポーティに仕上げたとはいえ、こうしたインテリアは高級感を思いきり演出している。

セダンにスポーティさをプラス 走りの素性がいいだけにナイスマッチング!

セダン＝ドレスアップ。それも車高をめいっぱい落として、個性たっぷりのデザインがなされたエアロを装着する。こんな図式が大流行して久しい。もちろん、クルマの楽しみ方はそれぞれだから、どんな風に着飾ろうと自由だ。しかし、あまりにも流行しすぎて、個性を発揮するのが難しくなってくる場合もままある。そこで新たなアプローチで登場したのがトライアルのY33である。

先代のY33と比較すると、スリムで洗練されたデザインの現行型。これを、思いきりスポーティに仕上げたのである。もともと、走りの方でも素晴らしい素質を持っているクルマだから、この狙いはまさしく的を射ているのである。フロントバンパーの開口部を見てもらえば分かるように、インタークーラーがばっちり見え、いかにも「走り」を意識したスポイラーのデザインといえる。ウインカーの下に開けられたインテークもまさしく同様である。また、サイドステップにもスポーティさを強調するエアスクープが設けられている。

全体的に鋭いラインを多用し、ボディをシャープに見せている。そして特筆したいのがリアビューだ。これまで、マフラーの形状に合わせたスポイラーのデザインというのはあったが、このY33のようにマフラーの下部に一枚装着されるタイプは真新しい。しかも、ハネ上げ式のマフラーと実によく合っており、随所にスポーティさを漂わせている。そしてウイングはDTM風のデザインを採用。セダンにこのタイプのウイングは、全くもって新鮮である。

セダン系のドレスアップというと、どうしてもデザイン個性の強いものが目につきがちであるが、セド・グロのように"速い"クルマには、こうしたアプローチのエアロがあってもいいと思う。そして、もっと走ることを楽しんでもいいのではないだろうか。「その気」にさせるスタイリングは、クルマの面白さを倍加させてくれるに違いない。エアロももちろんだが、マフラーもおすすめしたいパーツである。実にカッコいいリアに仕上がること請け合いだ。

TRANSFORM DATA

フロントスポイラー	16万8000円
サイドステップ	11万8000円
リアバンパー	8万8000円
上記キット	価格45万円
リアスポイラー(オプション)	10万円

問い合わせ:トライアルプロジェクト
☎0722-54-9777

にかかれば 生まれ変わる